





令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総務部	所管課	総合教育推進課		
施策名	いじめ防止対策の推進			施策コード	0105		
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)C		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略					事務事業数	1
SDGs	   			総合判定	概ね順調		
予算額(千円)	R 4	1,089	R 3	1,089	R 2	1,087	

施策目標	未来を担う子どもたちが、健やかに成長できる環境づくりを進めるため、いじめの重大事態に適切に対応するための取組を推進するとともに、家庭・学校・地域社会・関係機関と連携し、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。					
現状と課題	道では、全国に先駆けて平成26年3月に「北海道いじめの防止等に関する条例」を制定するなど、オール北海道でいじめの未然防止や早期発見・対応に向けた取り組みを進めてきたが、依然として、多くの児童生徒がいじめに苦しんだり、不登校となっている状況にある。					
前年度二次評価意見	-		対応状況(R4.3時点)	-		

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大事態として報告されている事案の再調査の実施の判断及び再調査を実施することとした場合の適切な実施 <p>【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がいじめの問題を自分のこととして捉え考え、議論する主体的な活動の推進や、一人一台端末を活用した相談窓口等による相談支援体制の充実など、いじめに対応した取組の充実。 豊かな人間性と社会性を育むため、道徳教育の充実に向けた、教員の指導力向上に関する研修を推進。 北海道の未来を拓く人材を育成するため、ふるさと教育の充実に向けた、実践事例交流会の実施や実践事例のWeb掲載による普及啓発。 	<p>【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道いじめ調査委員会活動実績 R3：委員会2回、学校協議1回 R4：学校協議1回 再調査実施の判断 R3：再調査不要 1件 R4：委員会未実施 <p>【教育庁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を活用した相談窓口を新たに開設したことにより、いじめの早期発見・早期対応に繋がっている。(R4.5開設、R4.7末相談件数：288件) 各管内において、児童生徒がいじめ防止の防止に向けて協議を行う「どさんこ子ども地区会議」を開催する。(R4.7～R5.3) 学校の教育活動全体を通じた道徳教育の改善充実を図る北海道道徳教育推進会議をオンラインで開催。(R4.7.15) 北海道に対する愛着や誇りを育む教育活動の在り方について理解を深めるふるさと教育・観光教育等実践事例交流会をオンラインで開催。(R4.7.6)

連携状況	教育庁が主催する「生徒指導連絡協議会」「北海道いじめ問題審議会」「北海道いじめ問題対策連絡協議会」に出席し、いじめ防止施策の共通認識を図るとともに関係機関・団体と意見交換や情報共有を行った。
緊急性優先性	北海道いじめ問題審議会における委員からの主な意見を踏まえ、地域の学校、PTA、青少年育成団体、警察、教育委員会が参加する連絡協議会を開催し、地域のいじめ・不登校等への取組に反映しているほか、ネット上のいじめから児童生徒を守るための保護者向け講習会等の取組に反映している。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	いじめ防止対策の推進	施策コード	0105
----------------------	------------	------------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめ認知件数のうち、解消している割合（小学校）		目標値	100	100	100	100	95.8%	B
		実績値	96.9	97.0	95.8			
設定理由	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
各種相談窓口の周知が進みいじめの早期発見が進んだことや、法のいじめの定義を踏まえ、学校いじめ対策組織を中心にいじめの積極的な認知が進んだが、早期解決を図ることができず、いじめ解消まで長い期間を要したことにより、解消率が下がったと考えられる。								

指標名②	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめ認知件数のうち、解消している割合（中学校）		目標値	100	100	100	100	95.7%	B
		実績値	96.7	96.9	95.7			
設定理由	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
各種相談窓口の周知が進みいじめの早期発見が進んだことや、法のいじめの定義を踏まえ、学校いじめ対策組織を中心にいじめの積極的な認知が進んだが、早期解決を図ることができず、いじめ解消まで長い期間を要したことにより、解消率が下がったと考えられる。								

指標名③	増加	%	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめ認知件数のうち、解消している割合（高等学校）		目標値	100	100	100	100	92.1%	B
		実績値	94.2	87.9	92.1			
設定理由	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
各学校においていじめの積極的な認知が進むとともに、学校いじめ対策組織を中心に、いじめの解消に向けた組織的な対応や関係機関と連携した取組が進んだことにより、解消率が上がったと考えられる。								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
-------------	---	---------------	---	-------------	---	-------------	------

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	いじめの解消に向けては、学校の組織的な対応や関係機関と連携した取組が必要であることから、北海道いじめ調査委員会において、引き続き、いじめ重大事態の調査結果について、再調査の必要性を審議し、いじめ重大事態に適切に対応する。
	②	
	③	

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	いじめ防止対策の推進	施策コード	0105
-----------------------	-----	------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		二次政策評価意見	
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号		方向性
1103		義務費	北海道いじめ調査委員会の運営に関する事務	「北海道いじめの防止等に関する条例」に基づく、重大事態の調査結果について、再調査を行う「北海道いじめ調査委員会」の運営に関する事務	総合教育推進課		1,089	1,089	2.0		2.0	16,657	①	改善(取組分析)	
計							0	1,089	1,089	2.0	0.0	2.0			

